

墨家

墨子 春秋戦国時代初期、一説にBC. 468ころ～BC. 376ころ、諸子百家の一つ、墨家(ぼっか)の始祖。初め儒家を学んだが、儒家の仁(じん)は血縁による差別愛であるとして、兼愛(博愛平等)・非攻(平和)・交利(相互扶助)を唱えた。(以下は「墨子」から)

第十四「混乱の原因を考えると、それは相互に()ことから発生しています。臣下や息子が君主や父親に孝でないのが、混乱のひとつです。また父親が息子を慈まず、君主が臣下を慈しまないという場合も、混乱のひとつです。世間で盗賊を働く者も、我が家だけを愛して、他人の家を愛そうとしないから、他人の家から盗んで、それを我が家に利益をもたらそうとします。賊人も我が身だけを愛して他人を愛さないの

で、他人から奪って我が身に利益をもたらそうとします。大夫が互いに相手の家を混乱させ、諸侯が互いに相手の国を攻撃するのも、これと同様です。世界中のあらゆる種類の混乱は、いずれも互いに()2ことが原因です。

→()3

第十七「今ここに1人の男がいて、他人の果樹園に忍び込み、桃や李(すもも)を盗んだとしましょう。民衆がそれを知ったならば、それを()4だと非難するでしょうし、統治者がその男を逮捕したなら、処罰するでしょう。それはどうしてでしょうか。他人に損害を与えて自己の利益を得たからです。---

何の罪もない人間を殺害して、着ていた衣服を剥ぎ取り、所持していた戈や剣を奪い去る者に至っては、馬や牛を奪い取る者より、その不義・不仁はさらに甚だしい。これはなぜでしょうか。他人に損害を与える程度が、ますます大きいからです。

ところが今、大規模な不義を働いて、他国を()5に至っては、だれもその行為を非難することを知りません。攻伐を称賛し、その行為を()6などと評価しています。

1人の人間を殺害すれば、社会はその行為を不義と判定し、必ず死刑に処します。こうした殺人罪に関しては天下の君子たちの誰もがこれを非難すべきことと認識し、これを不正義だと判断しています。ところが今、大掛かりな不義を働いて他国を侵略するに至っては、一向に非難すべきことを知りません。侵略を褒め称えては、義戦などと美化しています。つまり彼らは、実際に侵略戦争が不義であることを認識していないのです。」

→()7

第十九「今の君主や諸侯は誰もが精鋭部隊をえりすぐり、水軍や()8を整え、兵士に堅牢な甲冑や鋭利な武器を装備させ、罪のない国に侵攻します。まず国境一帯に侵入して耕地の農作物を刈り取り、集落の樹木を切り倒し、都邑の城壁を破壊して周囲の堀を埋め尽くします。家畜を奪っては殺し、祖廟(そびょう)を焼き払います。指揮官は命令に忠実に戦死した者を軍功一番、敵を多数殺した者を軍功二番、奮戦して負傷した者は軍功最下位とし、まして隊列を離れて敗走した者は即刻死刑とします。このように他国を併合し、軍隊を殲滅し、万民を殺戮して古代の聖人たちが樹立してくれた秩序を平気で破壊しているのです。さらに攻戦のための軍費は、()9に損害を与えています。どう見てもこうした所業は、下の人間の利益に叶ったりはしません。

もし君主が他国への()10を実施しようとするなら、国民も人民も本業一切を放棄する結果に陥ります。試しに考察してみましょう。まず国内で侵攻軍を編成しようとするれば、指揮官は数百人、軍吏の数は数千人、歩兵の数は十万人にも達するでしょう。そして長期戦になれば数年間、短期に終了しても数ヶ月の間、軍は解散されない。こうなると為政者は内政に気を配る時間的余裕がなく、官僚は国家財政を充実させる余裕がなく、農民は農業に精を出す余裕がありません。その上、遠征途上で食糧補給がままならず死ぬ者は数え切れません。こうした結果世界中が()11を被ると言わなければなりません。」

節葬下第二十五「墨子曰く「しばらく試みに厚葬、久喪(きゅうそう)の是非・利害について考えてみよう。王公・大人の葬儀は、棺を幾重にも重ね、死者を覆う衣服も何重にも重ね、()12は巨大なものにする。一般庶民が死んだ場合は、ほとんど家財を使い果たすであろう。諸侯が死んだ場合、黄金や珠玉で飾り、戦車や馬を坑に埋める。また使っていた品物を整えて墓室の床に並べる。まるで王宮がそっくり移転するかのようである。天子の葬儀には()13も出る。喪は食物、衣服も粗末なものとし、3年間死者にわが身を捧げる。これを行ったなら政務を執ったり、官僚組織を指揮したりすることができなくなるであろう。農夫に久喪を行わせたならば、農耕に精を出すことができなくなるであろう。このように厚葬の利害・得失を計ってみると、厚葬は人民に割当てて生産させた財貨を、むざむざ地中に埋めるものである。また久喪の利害・得失を計ってみると、人々が長期間仕事に戻れないようにするものである。

こんなやり方で富を得ようと願うのは、()14を禁じておいて収穫を要求するようなものである。政治が放棄され、生産力が低下し、悪事を働くものが増え、他国に攻められ、人口は減少するであろう。」

- ・悪 ・耕作 ・墳丘 ・兼愛 ・非攻 ・殉死者 ・攻撃する ・戦車部隊
 - ・侵攻作戦 ・民生の根本 ・甚大な損害 ・正義の戦い ・愛しあわない(2回)
- 葬----死者を送る。葬る。 喪----死者を悼んで家にこもる。喪に服する。